

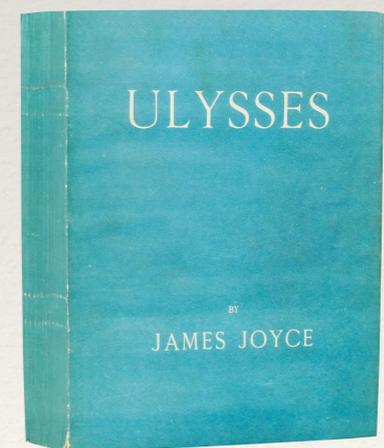
2022年の『ユリシーズ』 — スティーヴンズの読書会 オンライン読書会 (2020.4.26)

【読書会にあたってのお願い】

- ・ 13:00から13:25まではZoom操作の練習時間とします。音声や映像、Zoom機能に関連して試してみたいことがあれば、ホストにお伝え下さい。
- ・ 途中参加・途中退出OKです。
- ・ Zoomに接続できなくなるなどのトラブルが生じた場合、南谷のtwitterアカウントのDMか、workshop.stephens@gmail.comまでご連絡下さい。
- ・ 画面のスクリーン・ショット撮影について
- ・ 読書会中、音声環境をよくするため、ホスト側で皆様の音声をミュートにさせていただきます。
- ・ 読書会後のアンケートについて

【Zoomの設定】

- ・ 最新バージョン更新済み【バージョン:4.6.12 (20615.0421)】
- ・ ファイル送信無効
- ・ 画面共有機能：ホストのみ
- ・ 注釈・ホワイトボード・遠隔操作off
- ・ ブラウザからの参加可



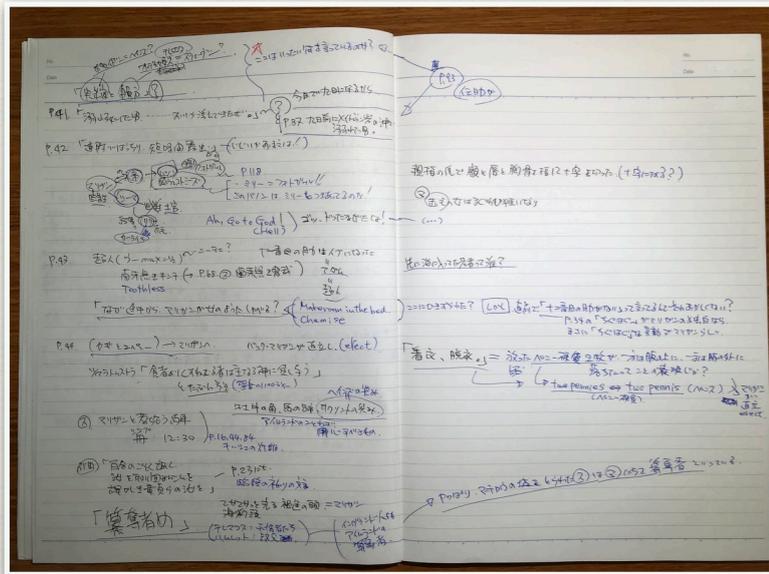
特別回 (第1~5 挿話)

- 13:00-13:30 準備：Zoomの練習・操作案内
- 13:30-13:40 挨拶
- 13:40-14:30 第1部：第1, 2, 3, 4, 5挿話の復習（主催者クロストーク）
- 14:40-14:50 休憩
- 14:50-15:50 第2部：ディスカッション・質疑応答
- 15:50-16:00 休憩
- 16:00-16:50 第3部：第1, 2, 4挿話の「テーマパネル」作成
- 16:50-17:00 挨拶
- 17:00-17:10 休憩
- 17:10 ~ 懇親会：Wandering Books；テーマ「旅」

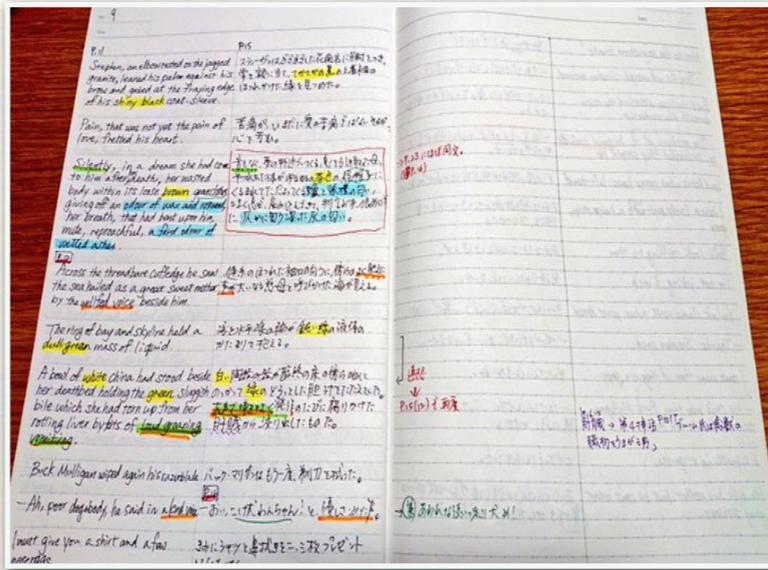
『2022年のユリシーズ』 読書会予定表

第1回 2019年6月16日	第4挿話 カリュプソー	Book II. Odyssey	initial style
第2回 2019年8月25日	第1挿話 テレマコス	Book I. Telemachia	initial style
第3回 2019年10月20日	第2挿話 ネストール	Book I. Telemachia	initial style
第4回 2019年12月22日	第3挿話 プロテウス	Book I. Telemachia	initial style
第5回 2020年2月9日	第5挿話 食蓮人たち	Book II. Odyssey	initial style
第6回 2019年4月26日	特別回 第1挿話～第5挿話	Book II. Odyssey	initial style
第7回 2020年6月28日	第6挿話 ハデス	Book II. Odyssey	
第8回 2020年8月	第7挿話 アイオロス	Book II. Odyssey	
第9回 2020年10月	第8挿話 ライストリュゴネス族	Book II. Odyssey	
第10回 2020年12月	第9挿話 スキュレとカリュブディス	Book II. Odyssey	
第11回 2021年2月	第10挿話 さまよう岩々	Book II. Odyssey	
第12回 2021年4月	第11挿話 セイレーン	Book II. Odyssey	
第13回 2021年6月	第12挿話 キュクロプス	Book II. Odyssey	
第14回 2021年8月	第13挿話 ナウシカア	Book II. Odyssey	
第15回 2021年10月	第14挿話 太陽神の牛	Book II. Odyssey	
第16回 2021年12月	第15挿話 キルケ	Book III. Nostos	
第17回 2022年2月	第16挿話 エウマイオス	Book III. Nostos	
第18回 2022年4月	第17挿話 イタケ	Book III. Nostos	
第19回 2022年6月16日	第18挿話 ペネロペイア	Book III. Nostos	

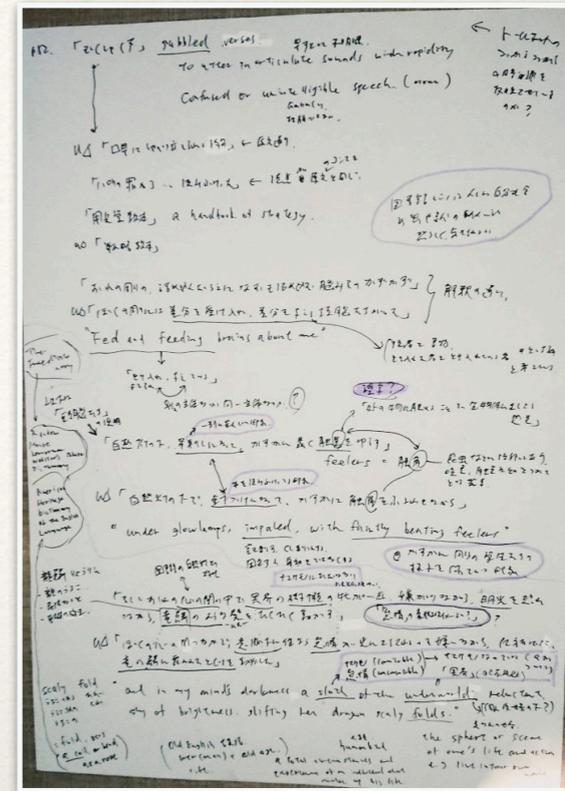
『ユリシーズ』とノートテイキング



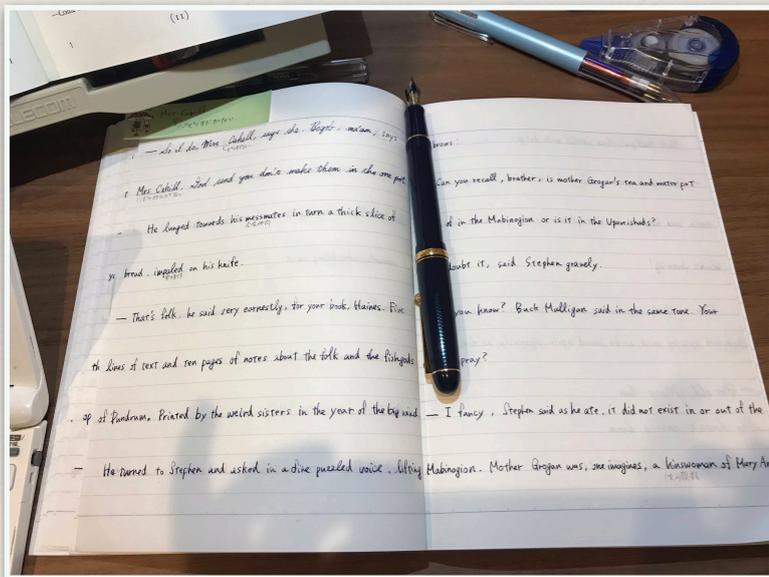
©三月うさぎ(兄)さん@march_hare_bro



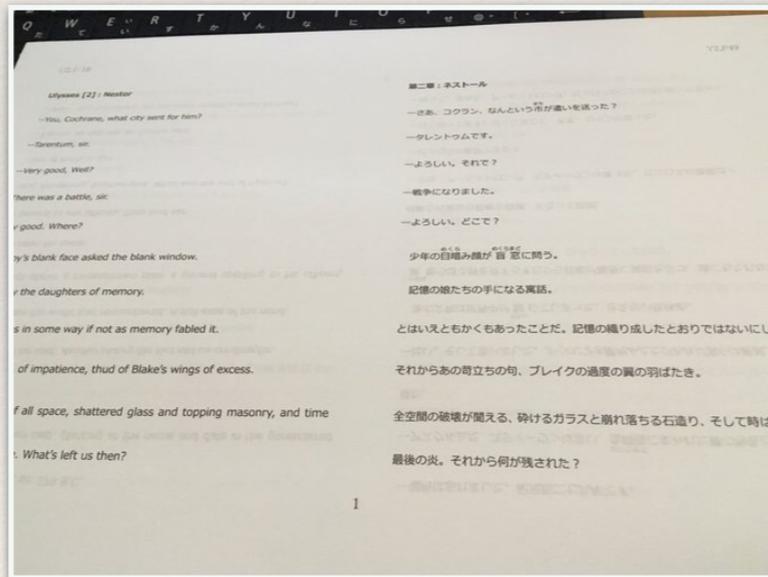
©オクスタ製文さん@oksta7



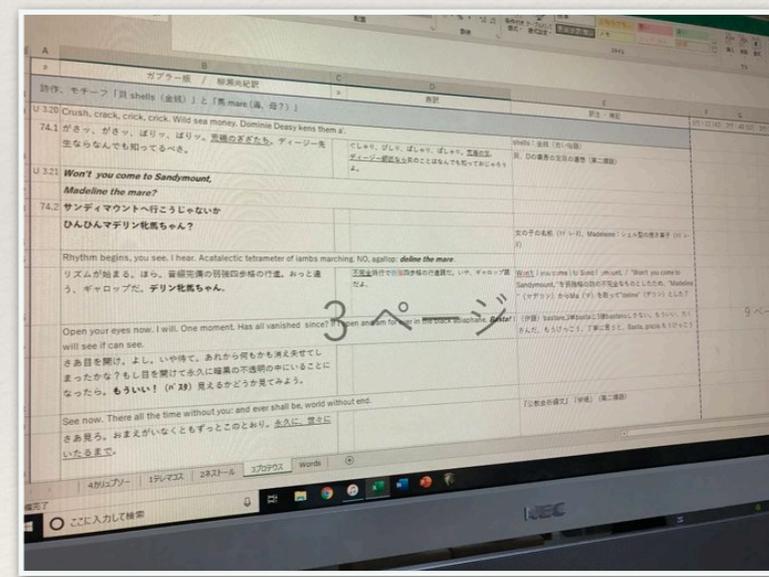
yoshimo maiさん@yoshino314



©トマトが主食のかぼちゃさん@sleepmyrtle



©きのさん@keni_keno



月と牧人ひつじを@melacavobene

『ユリシーズ』を読むための5つの方法

(1) 意味と「？」を集める蜜蜂になる

(2) 「小さな一つ」に情熱を注ぐ

(3) 寄り道をしながら誰かと読む

(4) 生活者として読む

(5) ダブリン行きを楽しみにする

▶ 『ユリシーズ』は、普通の人々が毎日送っている生活の現実を祝福するために書かれた。ボードレールからフローベールに至るまで、前世紀の最も力強い作品は、単に陳腐になってしまう都市の日課の反復性に対する著述家の公然たる抵抗が動機となって、日常生活への辛辣な批評を含んでいることが多い... **ジョイスは全く異なる方法を取った。たった一日の詳細を記録することで、平凡な生活に潜む驚異的な要素を解き放つことができ、ありふれたものが驚嘆すべきものになると信じていたのである。**（デクラン・カイバート『ユリシーズと我ら一日常生活の芸術』坂内正訳（水声社、2011年、24頁）

特別回 (第1~5 挿話)

- 13:00-13:30 準備：Zoomの練習・操作案内
- 13:30-13:40 挨拶
- 13:40-14:30 第1部：第1, 2, 3, 4, 5挿話の復習 (主催者クロストーク)
- 14:40-14:50 休憩
- 14:50-15:50 第2部：ディスカッション・質疑応答
- 15:50-16:00 休憩
- 16:00-16:50 第3部：第1, 2, 4挿話の「テーマパネル」作成
- 16:50-17:00 挨拶
- 17:00-17:10 休憩
- 17:10 ~ 懇親会：Wandering Books；テーマ「旅」

Book I

第1挿話（テレマコス）

登場人物：スティーヴン・デダラス、バック・マリガン、ヘインズ、ミルク売りの老婆

- ①「マーテロ塔」の位置と構造
- ②登場人物たちのあだ名について
- ③登場人物たちのポケットには何が入っている？
- ④大いなる海と大いなる母—母の死と溺死の関係
- ⑤「アイルランド芸術の象徴」としての「僕のひび割れた鏡」
- ⑥ミルク売りの老婆とアイルランド性
- ⑦ヘインズと大英帝国（植民地主義）
- ⑧鍵の所収者と家賃問題
- ⑨男たちの朝食と紅茶
- ⑩シェイクスピアと『ハムレット』

第2挿話（ネストール）

登場人物：スティーヴン・デダラス、コ克蘭、アームストロング、コミン、タルボット、シ rilル・サージェント、ギャレット・ディージェー

- ①「歴史とはぼくが目覚めようとしている悪夢」とは？
- ②直線的な歴史観と明白なる運命
- ③「虚ろなもの」（貝、窓、湾）が意味するものは？
- ④ドーキーと富裕層、アングロ・アイリッシュについて
- ⑤アリストテレスの哲学と可能態
- ⑥狐のなぞなぞ
- ⑦反ユダヤ主義とディージェー校長のなぞなぞ
- ⑧馬と牛の口蹄疫とアイルランド経済
- ⑨お金、給料、借金
- ⑩教える者と学ぶ者

第3挿話（プロテウス）

登場人物：スティーヴン・デダラス、浜辺を歩く二人の老婆、犬("Tatters")を連れた男と女、犬の死骸

- ①スティーヴンが実践するバークリーの観念論
- ②サンディマウントとはどんな場所？
- ③「順次」と「並列態」の具体例は？
- ④海神プロテウスをつかまえる方法
- ⑤二人の老婆、ジプシー風の男と女、二匹の犬
- ⑥なぜジョイスは浜辺で死んでいる犬を描いたのか
- ⑦「誰が話している？」—グールディング家内の会話
- ⑧「こけ犬わんちゃん(dogsbody)」と犬の死体(dog's body)の関係
- ⑨墜落と帰還—スティーヴンのパリの記憶
- ⑩詩作と鼻くそ—スティーヴンの創造行為

Book II

第4挿話（カリュプソー）

登場人物：リアポウルド・ブルーム、黒猫、モリー・ブルーム、
ドルーガック肉店の主、ミリー・ブルーム、ブレイゼズ・ボイラン

- ①二つの太陽を覆う雲
- ②誰が何を食べている？—人間と動物の食生活
- ③ブルーム家の猫の謎
- ④ドルーガック肉店とユダヤ的なるもの
- ⑤「手紙は誰に？」—モリーとボイラン、ミリーとバノン
- ⑥「会者定離輪廻」(Metempsychosis)という鍵語
- ⑦ブルームの帽子と鍵
- ⑧ホメリック・パラレル—カリュプソーと「ニンフの沐浴」
- ⑨ブルームの子どもたち—娘ミリーとルーディ
- ⑩第4挿話にはなぜ排泄物が描かれるのか？

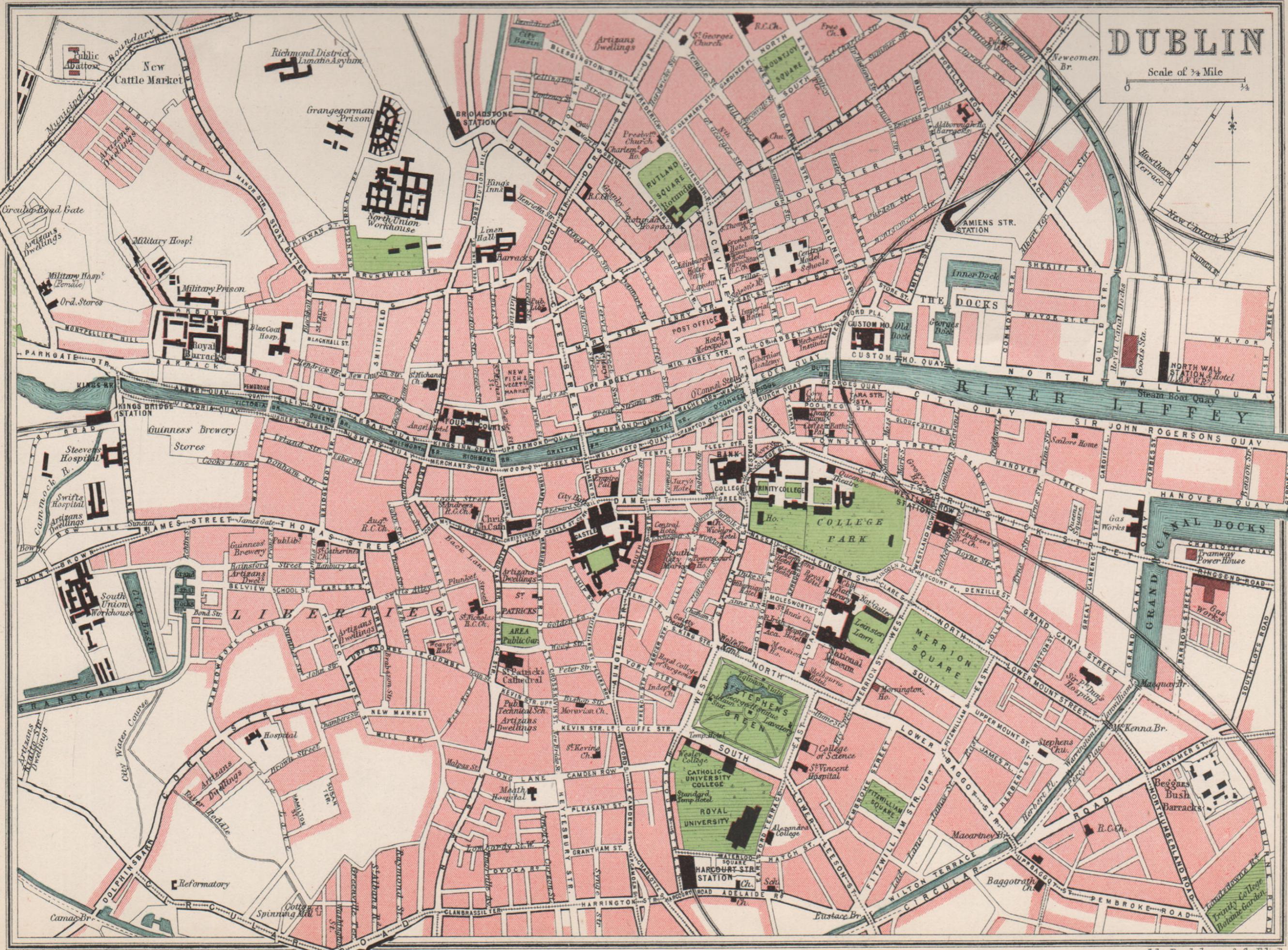
第5挿話（食蓮人たち）

登場人物：レオポルド・ブルーム、マーサ・クリフォード、
C・P・マッコイ、スウィニー薬局の主、バンタム・ライアンズ

- ①ホメリック・パラレル—食蓮人と麻痺
- ②この街ではいつも誰かが見ているかもしれない—窃視症と窃視不安
- ③ヘンリー・フラワーとマーサ・クリフォードのエロティックな文通
- ④第5挿話に隠れた花を見つけ出す
- ⑤読みまくるブルーム—手紙、新聞記事、広告
- ⑥父ルドルフ・ヴィラークの死
- ⑦ブルームの性的不安
- ⑧教会とミサ（告解と改悛）
- ⑨きれい好きのブルーム—スウィニー薬局の石鹸と温水浴場
- ⑩ジョイスの間違いは間違わない—バンタム・ライアンズの勘違い

DUBLIN

Scale of 1/4 Mile



第1挿話

- テーマ
- 登場人物
- 関連事項

人物のあだ名

「キンチ」・「耶穌会の怖い先生」(fearful Jesuit)・「べらぼうなイエズス会士」/「サクソン公」・「イギリス野郎」/「気働きマラキ」; マリガンのみは、「バック・マリガン」と呼ばれる。

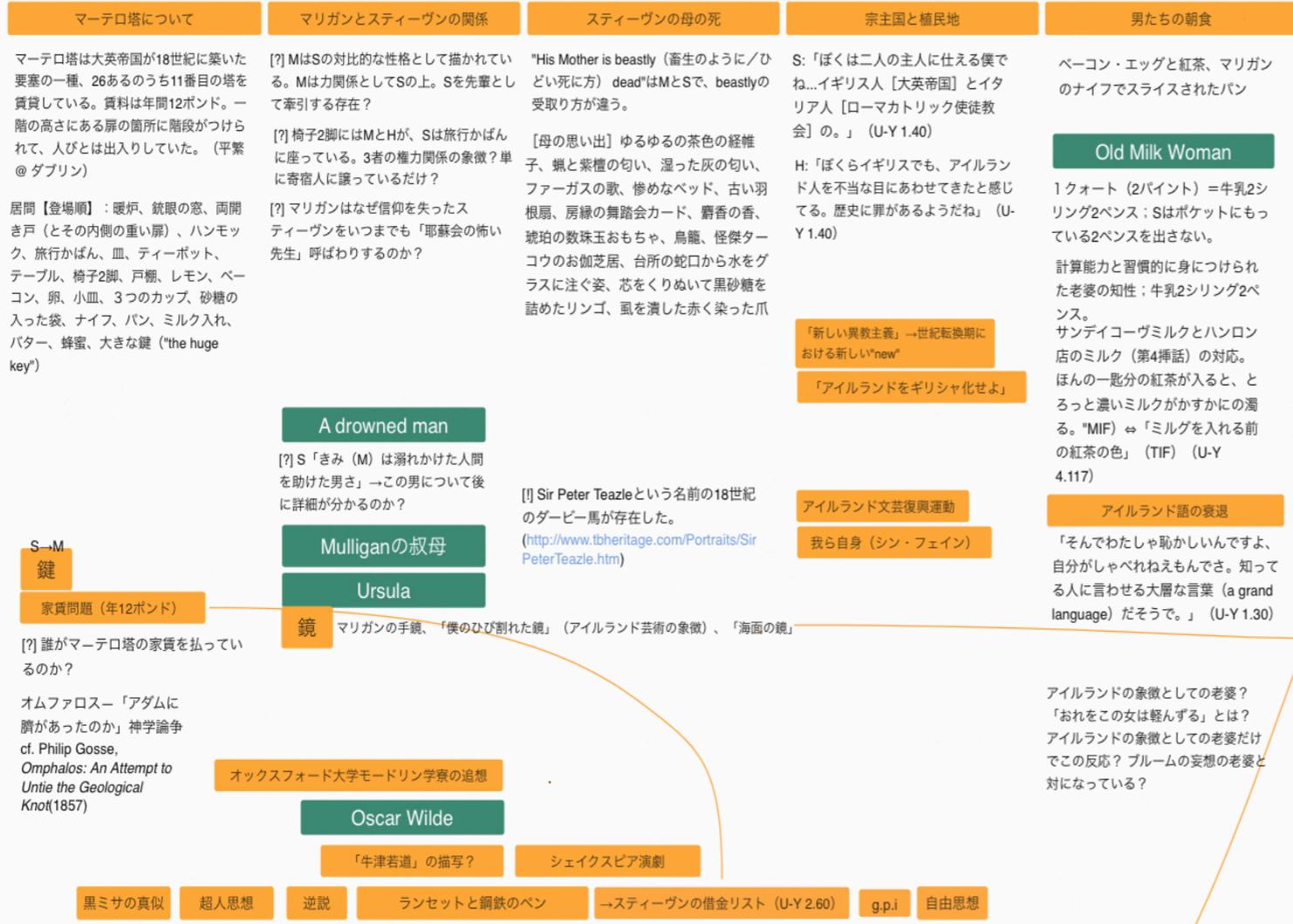
地名・場所の名前

ブロック港/キングズタウン (ダン・レアリー) の港/ダブリン湾/五尋湯/サンディコーヴ/マグリニ小島/ブレイヘッドのずんぐり岬/ダンドラム/マター・リッチモンド病院/シップ酒場...

ポケットの中身

S: ハンカチ、2ペンス、大きな鍵
M: 1フロリン銀貨
H: 銀の煙草入れ、ニッケルのライター

マーテロ塔 (塔の上と塔の中)



Malachi/Buck Mulligan

Mは外見描写が豊富: ふくらかな体、頑丈ながっしりした体、淡いオークの木目色の髪/金髪 (日の当たり方で変わる?)、金歯と白くきらめく歯並び、黄色いガウン、おさまりの悪いタイ、メルクリウスの帽子、ブーツ
ワイルドを思わせるふっくらした体格? 社鹿のスマートイメージ? 慕尊者? 「脈絡のない男」? 気まぐれな男? ぶれない行動原理をもつ人物?
バック・マリガンの演じる声の役割: 説教師の口調、年寄女の謙し声(グロウガン婆ちゃん)、よそゆきの声(学者風?), たるんだおめでたいたわけ声、若い女の口調

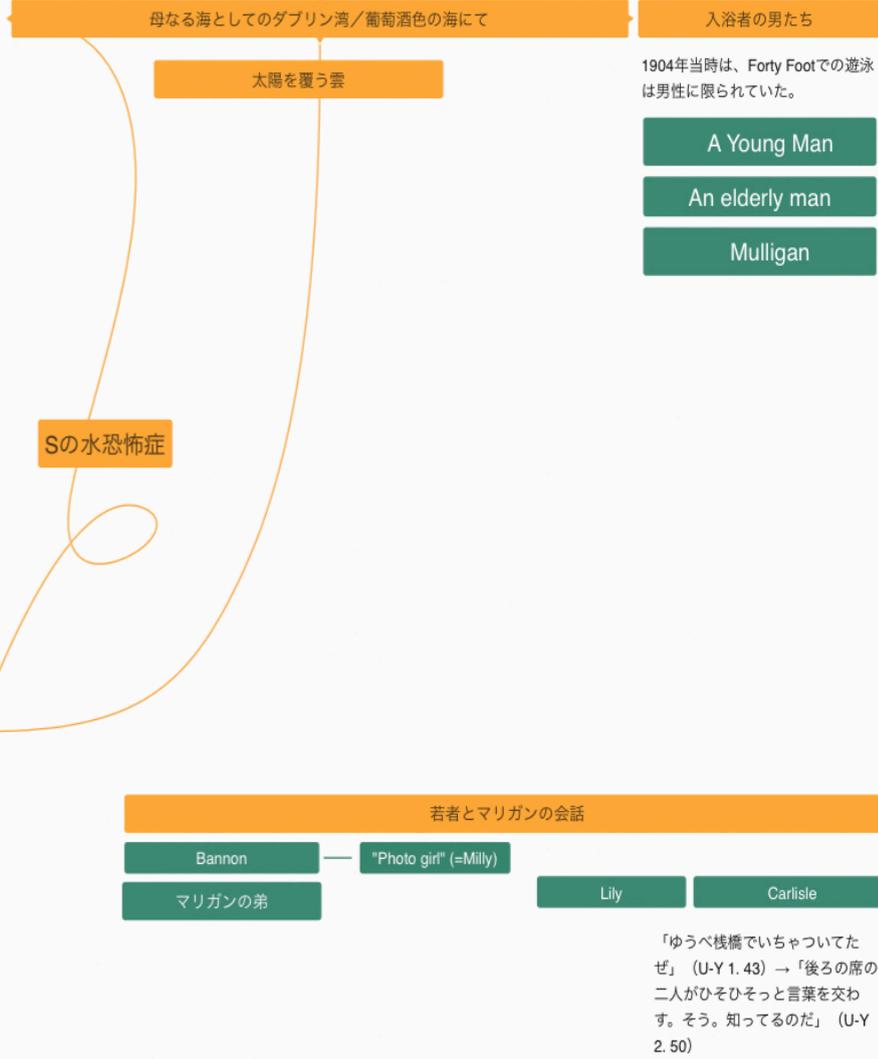
Haines

チョッキ、テニスシャツ、グレーの中折れ帽、スカーフ
黒豹の悪夢
アイルランド民話の収集 - 国立図書館での用事
[?] Hのアイルランド語の実力はどの程度?
[?] 支配者としての英国人が、アイルランドの文化にリスペクトを寄せることがあるのか? ; 植民地主義的な態度が見え隠れているのではないか?
「ドイツ系ユダヤ人」に関するHの陰謀史観 (U-Y 1.41)
Hainesの父
ズール一族にヤラッパを売りつけて荒稼ぎ

Stephen Dedalus

胸ポケットのハンカチ、黒い喪服; 裾のほつれているお古の服; 「セコハンとセコレグ」トネリコの杖
Sは、臨終の母のために祈ることを拒んだ。カトリック信仰の拒否。死後の世界から重圧を与える、幽鬼としての母: "let me be, let me live"→ハムレットとのつながり; ハムレット (の衣装を着た) との同一化?
母の死
白い陶器の器の緑のどろっとした胆汁
風
W. B. Yeats, "Who goes with Fergus?"
臨終の祈り
[?] 「苦痛が、いまだに愛の苦痛ではないそれが」→母への愛でない、母の苦しみに寄せる愛ではない苦痛だとすれば、一体何の苦痛?
トネリコのステッキ; 詩人の象徴、スティーヴンの未来の予兆? ; トネリコ=ash, 死を比喩している?
→第4挿話のジョージ教会の吊鐘 (スライド参照)

フォーティ・フットでの海水浴へ (塔の外)



1904年当時は、Forty Footでの遊泳は男性に限られていた。
A Young Man
An elderly man
Mulligan
Sの水恐怖症
「新しい異教主義」→世紀転換期における新しい"new"
「アイルランドをギリシャ化せよ」
アイルランド文芸復興運動
我ら自身 (シン・フェイン)
アイルランド語の衰退
「そんでわたしや恥かしいんですよ、自分がしゃべれねえもんでさ。知ってる人に言わせる大層な言葉 (a grand language) だそうで。」 (U-Y 1.30)
若者とマリガンの会話
Bannon
"Photo girl" (=Milly)
マリガンの弟
Lily
Carlisle
「ゆうべ棧橋でいちゃついてたぜ」 (U-Y 1.43) → 「後ろの席の二人がひそひそと言葉を交わす。そう。知ってるのだ。」 (U-Y 2.50)
12時半に舟 (シップ) で待ち合わせ
脱いだ衣服とペニーコイン2枚 (two pennies)
[?]一枚目が豚の山に潜り込み (Dressing)、二枚目はいったん潜った後に飛び出してきた (undressing) ということ?
郵便船 (mailboat)
ブロック港に向かう帆船
朝夕08:15/20:15に港を出発し (Gifford 15)、ダブリンとウェールズのホリーヘッド間を一日2往復する。
[?]船頭と実業家: 誰を指している? 船は9日前に溺れた男を捜索している帆船?
[?] 「磯近くと沖合で海面の鏡が軽やかな靴をはいて駆ける足に踏んづけられて白くなる」→「軽やかな靴をはいて駆ける足」とは誰、何のこと?
→第4挿話のジョージ教会の吊鐘 (スライド参照)

起床後の行動→朝食→海水浴という3部構造を中心に形作られている。

第1挿話の復習

第2挿話

- テーマ
- 登場人物
- 関連事項

歴史/歴史観

年表上の歴史

B. C. 279年 アスクルムの戦い

1801年 連合法；グレートブリテン及びアイルランド連合王国が成立

1829年 カトリック解放令

1845-49年 ジャガイモ飢饉

1858年 アイルランド共和兄弟団（IRB）結成

IRB/フィニアン会 (@*)

1866年 (競馬) バリ賞

1870年 基礎教育法 (Elementary Education Act)

1882年 フィーニクス・パーク暗殺事件

1905年 A・グリフィス シン・フェイン党の設立

ディージー校長

虚ろなもの

貝

校長の部屋の「虚ろな貝殻」(パイ貝、宝贝、豹貝) 巻き貝、カタツムリとその殻；「目暗み顔」と「盲窓」(blank faceとblank window)；「空っぽの湾」(empty bay)；Sの空っぽのポケット。人が出払って空っぽの巻き貝型のマーテロ塔；貝のシンボリズム：金/貝の隠喩的關係（「金は力ですぞ」）；質としてのアイルランドの国土；誤った基礎にもとづいた歴史認識；[?] サージェントの算数の取組みに対してSを感じる"futility"と教育の虚しさ。

cf. W. B. イェイツの長編詩「内戦時の瞑想」("Meditations in Time of Civil War")には貴族文化の衰退を暗示する空の貝殻の詩句が含まれている；T. S. エリオットの詩「虚ろな人々」("The Hollow Men," 1925)

いまは亡き競争馬の肖像画
皇太子A.エドワードの肖像画

直線的な歴史観

「この問題に関しては意見が2つとないはずだ」←解釈を許さない歴史観；実証主義的な歴史；強者が作る帝国主義的な歴史観

「まっぐな道によりて (ペル・ウィアス・レクタス) (U-Y 2. 61) 「すべて人間の歴史は一つの偉大な目標に向かって動くのです、神の顕現に向かって」 (U-Y 2. 66)

cf. 「明白なる運命」(manifest destiny) と鉄道線路一直線の形象



Wikimedia

スティーヴン・デダラス

アリストテレス哲学と可能態

ありえたかもしれない世界の可能性；もしピュロスがアルゴスで一老婆の手に掛かって斃れなかったら？カエサルが殺されていなかったから？

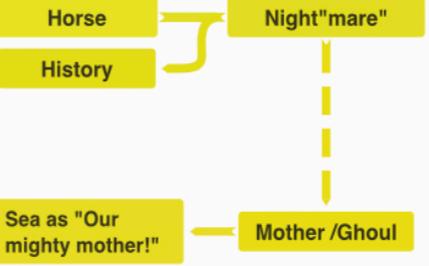
[?] 宗教と結びついた歴史から考察していくと、無神論者を志向するスティーヴンは、神の歴史観のもとにあるディージーを軽蔑している？

[?] Sは母の死に対して自責を感じて、自分も加害者であるかもしれない可能性の歴史を考えている？

血糊傷にまみれた(教科)書 —— 血参みのちらし (U-Y 4. 113)

歴史という悪夢 (Night"mare")

nightmareはスティーヴンにとって「亡霊的なトラウマ」←その悪夢から目を覚ますとは何を意味するのか？；nightmareは循環史観のほうの馬ではないか？



! & ?

H・ブラックウッド・プライス

- リリー
- ヘインズ
- イーディス
- エセル
- ガーター

ヘインズ (U-Y 1. 41) の反ユダヤ主義；第4挿話ブルーム登場の予告

ディージー、口蹄疫 (foot and mouth disease) の治療をめぐる投書；テレグラフ紙と農業新聞アイリッシュ・ホームステッド紙上での掲載をSに依頼

←「国のなかに入れぬ」というアナロジ

反ユダヤ主義

ディージー校長のなぞなぞ
[?] なぜSはディージー校長のなぞなぞに対してなぜ笑うのか？

学校の生徒たち

- アームストロング
- トールボット
- シリル・サージャント
- カミン
- コ克蘭
- ハリデイ

[?] ディージーとSの歴史観の外部にある「子供たちの歴史観」があるのではないか？
[!] 聖ヨセフ公立学校(U-Y 4. 107)との対応

[?] 子供たちは何歳くらいか？←10才くらいではないか？；木曜日が半日休みなのは私立の学校だからだろうか？

馬

Night-"Mare" 「歴史はぼくが目覚めようとしている悪夢なんです」；運動場での一つのゴールと歓声；「悪夢」が「蹴り返したら」どうするのか？「蹴り返す」とはどういう意味か？→領土的なニュアンスを含む) 反対陣営からの反撃と捉えることはできないか？

牛

「親牡牛派詩人」(U-Y 2.68) ←この名付け方には何かモデルがあるのか？

狐

母の記憶
スティーヴンのなぞなぞ

冥界の樹懶の牝

シティ・アームズ・ホテルでの家畜業者組合の会合；代議士のフィールド氏が手紙を代読

蝸牛

幼少期の記憶

ドーキーと富裕層

Sの3ポンド12シリングの給料

運動場上のホッケー；ゴールと笛の音；テニスの『イン・メモリアム』末尾の詩句「一つのゴール」

That God, which ever lives and loves,
One God, one law, one element,
And one far-off divine event,
To which the whole creation moves.

第2挿話の復習

第3挿話の復習

- 第3挿話
- テーマ
- 登場人物
- 関連事項

スティーヴン・デダラス	ジョージ・バークリーの観念論 (<i>To be is to be perceived</i>)	順次と並列態	スティーヴンの詩作
-------------	--	--------	-----------

サンディマウントの磯、海風、足元の海藻や貝殻、波の音、濡れた砂、リーヒーの高台、船食虫に食い荒らされた船材、海落し卵、海捨て草、寄せる潮、色褪せたブーツ、産婆の?女性二人、男と女、泥砂、累々たる丸石、黒ピールの瓶、物干し綱、磯にされた二枚のシャツ、リングズエンド、舵取りや船頭の小屋、南岸壁沿いの積み重ねる石マンモスの頭蓋、丸石の防波堤、「菅やぬめぬめすべっこい昆布」、南中の太陽、トネリコのステッキ、ヒバマタ、ぶよっとむくんだ犬の骸、生きている犬 (Tatters)、鷗、とり貝、「今はなき土木師たちの築いた石垣」、ビジョンハウス、堤防、ぎざぎざの岩、水中で揺れる海草、「一隻の無言の船」

ダブリン地誌とサンディマウント周辺：キルケニー、聖カニス教会、ノー河畔のストロングボウ城、キッシュの灯台船、プールベック道路、リフィー川、サーペタイン通り、ハウス岬、リングズエンド、ビジョンハウス、ブラックピッツのオラフリン酒場
ファンバリー小路、ホッジス・フィギス書店、リーソン・パーク ダブリン湾口 フェザーベッド山、コック瀉、シップ (酒場)

サンディマウント周辺

陸地/海になる境界的な場所としての浜 (cf. 遠浅の海における境界のぼやけ: "Am I walking into eternity?")

[?] スティーヴンはサンディマウントで何をしているのか?

[?] 海岸なのに海の匂いが描かれないのはなぜか?

犬 (Tatters)

海神プロテウスと変身 Dog / God

「パンの、牧神の真昼」 (U-Y 3.92) : 人間と動物の中間的な海神プロテウス; 境界のぼやけ。
「こけ犬わんちゃん」 (U-Y 3.88) ; 従属的な存在としての犬 (U-Y1.16)

砂州の上で鷗を追いながら変身する犬 (跳ね兎→牡鹿→熊→狼→子牛→犬→豹→禿鷹)

[!] 「海驢 (あしか) の波に吠えかかる」には "seamorse" に隠れた horse を馬偏として訳出しているのではないかと?

Nacheinander (順次連続するもの) としての波 whitemaned—Mananaan—And and and and—Houyhnhnm

ホッケーのゴールが決まる
ディージー校長「すべて人間の歴史は一つの大きな目標に向かって動くのです」 (U-Y 2. 66)

女と男

"A woman and a man." (U 3.87) スティーヴンによって知覚された順番に語られる。
→"the ruffian and his strolling mort." (「やくざ者と辻君情婦」 U 3.89)

死んだ犬 (carcass)

[?] 冒頭の記述に予告されている「死体」としての "in bodies"? ; Sは死骸 (carcass) としての貝殻を踏みつけている?

[?] Tattersは浜辺で死んでいる犬をどう認識しているのか。動物はどのように「死」を認識しているのか。

「...二本の前足がぱしゃぱしゃ引っ掻いて掘る。何か埋めてるんだらよ、亡くなったお婆ちゃんでも。」

メイ・デダラスの死去

"poor bitch's body"—"beastly dead"
その死は『肖像』と『ユリシーズ』の間に位置づけられている。1903年6月26日に埋葬。

"Lawn" Tennyson: ホッケーとの対応?

アルフレッド・テニスン (1809-1892) 『イン・メモリアム』末尾の詩句

That God, which ever lives and loves,
One God, one law, one element,
And one far-off divine event,
To which the whole creation moves.

オフィーリアの死体
ハムレットの墓掘り人夫

埋める行為と埋葬されたものを掘り返す; 死者を蘇らせるイメージ。

死者を媒介にした連想

メイデン岩沖での溺死事故

[?] 海 (羊水) のなかで揺られている溺死体には、まだ生きているイメージが付与されているのではないかと?

老婆

フローレンス・マッケイブ夫人

死産した赤子 オムファロス

「臍の尾 (navelcord) をひきずる死産の赤子、赤字の羅紗 (ruddy wool) にくるんで黙らせて。」 → [!] "ruddy wool" のなかに "Rudy" が隠れている。

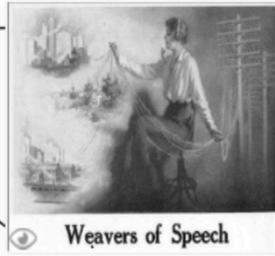
想像された発話 1

- グールディング家
- リッチー叔父さん (ブライイト病)
- セアラ叔母さん
- ウォルター
- クリッシー

想像された発話 2

「もしもし!こちらキンチ。エデン市へ繋いでよ。アレフ、アルファ、〇〇ー」 (U-Y 3.74)

家庭で編み物をする女性の伝統的なイメージを利用した電話交換手の広告



cf. April Middeljans, "Weavers of Speech": Telephone Operators as Defiant Domestic in American Literature and Culture," *Journal of Modern Literature* (2010), vol. 33, no. 3, pp. 38-63.

創造行為としての鼻くその展示 → 青っ漢の海 (snotgreen sea)

[?] 岩場での犬のマーキング行為と関連があるのではないかと?

[?] 「手元の仕事をさっさとすませる。」は何を意味しているのか

パリの記憶

ケヴィン・イーガン

イカロス—鳥—鳩—Wild Geeseの連想
「茶の子」とは何か?

cf. 「明白なる運命」と鉄道路線—直線の形象—電信線 (糸) を手繰る女神



第4挿話の言葉の地図

テーマ 登場人物 関連事項

📌 (1) 第1挿話との対比 (2) 「意識の流れから隠れる事実」 (3) 『ユリシーズ』における「ユダヤ的」要素 (4) 植民地アイルランドと独立の問題 (6) ブルームの商い・貨幣経済に対する関心 (7) ブルームの身体的生理と排便の描写 (8) ブルームの動物に対する態度 (9) ブルーム家の生活空間におけるモノ (10) ブルームの科学的知識 (11) 市民生活とそこから疎外される存在 (12) 語りにおけるリズムミカルな音や音韻の仕掛け (13) ホームリック・パラレル (14) 人間が食べるもの、猫が食べるもの (15) 輪廻転生のモチーフ (16) 1904年6月16日の天気 (17) 小説における糞尿・排便描写

**metempsychosis (柳瀬訳:「会者定離輪廻」)

→"metpikheoses" (p.266)

排便・糞尿・排泄物

「雨が降らないと、いい卵はない」(p.103)
庭に肥料(鶏の糞;牛の糞)をまいて、「豊穡」の地を考えるブルーム (p.122)

手紙

ブルーム、「ティッドピッツ」誌を読みながら、排便をする;3段半(一段(column)につき1ギニーの原稿料)の原稿量と排便量の対応;臓器による連関:ブルームの腎臓と排尿

腰の曲がった老婆

ブルームの思念「不毛の地、何一つ生えない荒れ地」(p.110)の直後、アップバー・ドーセット通りの酒店キャンディの店から出てくる老婆;「荒廃」の主題とブルームの性的不安

1904年6月16日の天気

同一語句の反復による雲の描写と第1挿話との時間的対応:「雲が一つ、太陽をゆっくりと覆い始めた」→(p.110)「雲がゆっくり動いてすっぽり覆い」(p.21);挿話中に挿入される天候描写の導入(pp.101,103,104,106,108,110,111,121,124)→「そろそろ洗濯物を外へ吊るす頃だが」(p.121)

ホームリック・パラレル

サンダル履きの足で、俺を出迎える娘、金髪を髪になびかせて(p.111)
壁に掛かった「ニンフの湯浴み」の絵;(ギ)女神カリュプソーと囚われのブルーム

第1挿話との「対応」

ブルームとスティーヴンの対比;母親の肝臓とブルームの糞物好き;動物(beast)に対する扱いの違い;スティーヴンは観念的・形而上的なもの、ブルームは身体的・日常的なもの、モリーは感覚的・肉感的なもの結びついている;スティーヴンが鍵を閉めること、鍵を閉めないブルームの対比→鍵をもっていない主人公のテーマ

Molly (Marion) Bloom

男性器のイメージ→生殖・モリーのボイランとの情事;口を尖らせたポット;ミルクを注ぎ込む紅茶のポット

1889年の実際の作品をもとにしたサーカスを舞台とした小説 Rudy, Pride of the Ring

Hugh Blazes Boylan

- 官能的なものへの関心
- Paul de Cockの本と名前
- ボイランからの手紙
- ベチコート;ヘアピン;ズロース

ハンロン牛乳店の配達人

郵便屋

Milly Bloom

ブルームからベレー帽の誕生日プレゼントを受け取る
ブルームとモリーの娘、15歳;6月15日生まれ;マリナーの写真店で勤務;選給12シリング6ペンス

グレヴィル・アームズでのコンサート

Banon

ミリーとピクニックの約束

Coghran

写真店オーナー

- 暗闇で光るヒゲ
- 宝石のような緑の瞳
- 「おバカな」猫のイメージ
- 伝染病と猫の実用性
- 白いボタンのようなお尻
- ざらざらの猫の舌
- ブルーム家の猫
- 血とミルク→コーシャー
- ネズミを弄ぶ「残酷さ」
- 「洗濯ソーダで荒れた手」

猫語 (Mrkgnao)

ブルームの間違った科学的知識

ユダヤ人・ユダヤ教・ユダヤ性

緑々の皿:コインを飲み込む商人の指(舌) コーシャー

Moses Dlugacz

ウッズ家の女中

ブルームの「尻」への関心

- 排便
- 朝食の準備
- 猫の世話
- 尻のポケット
- 部屋の前付け
- ハングレー・サーカス団の思い出
- 買物
- ケイヘル通りの図書館への本の貸出延期
- ディグナムの葬式
- モリーとボイランの密会についての想念
- ミリーと愛蘭号に乗船した思い出

Leopold Bloom

「サンドウ体操」と健康への意識

Larry O'Rourke

市の交通のちょうど終点にある、立地のよい酒場を経営

前掛け姿のバーテン

Paddy Dignam

Rudy Bloom

ブルーム家の家具・所持品

- ・プラストウ高級帽
- ・遺失物取扱所の古物防水服
- ・ブルームのズボンとベルト
- ・厚ぼったい外套
- ・ティースプーン・フォーク
- ・ティーポット
- ・蓋付きカップ(ミリーがくれた誕生日プレゼント)
- ・紅茶のコップ・猫のミルク皿
- ・表戸の鍵・ポケットのなかのジャガイモ
- ・『ティッドピッツ』の古い号
- ・緑の欠けた茹で卵入れ
- ・でこぼこしたお盆
- ・修理が必要なベッド(オークションで競り落とした嫁入り道具)
- ・オレンジの鍵模様のある室内型便器と壊れた室内型便器
- ・ブルームの書物机
- ・庭の壁隅に生えているスペアミント
- ・アンドルーズの店のオリーブの実
- ・バター・パン
- ・ハンロン店配達人のミルク
- ・台所のテーブル
- ・台所の湯沸かし
- ・調理用暖炉の石炭

第4挿話の復習

第5挿話

テーマ 登場人物 関連事項

【ブルームの足取り】サー・ジョン・ロジャース船寄通り→ウィンミル小路→リクス亜麻仁加工所→海員宿泊所→ライム通り→プレイディ路地→タウゼンド通り→救世軍会館→ニコルズ葬儀屋→ウエストランド通り→郵便局→ブランズウィック通り→御者溜まり→カンバーランド通り・ミードの材木置き場→線路のガード下→教会→ウエストランド通り→スウィニー薬局→トルコ風呂

花 香 バディー・ディグナムの死 誤解・誤字・誤読

Henry Flower (偽名)

サボテンの花、睡蓮、マーサの手紙の中の黄色い花、ビールの樽のなかの泡立つ、どろどろした「白泡の花びら」(U-Y. 3.93)、「一輪のものうげな漂う花」(U-Y 5. 152)

[?] 黄色の花は何の花だったのか? ; スイセン (narcissus) ? ; スミレ? ; 黄色のバラは嫉妬を表わす?

"Hamam. Turkish. Massage. ... Nicer if a nice girl did it."

[?] 浴場で体を洗ってくれるサービスはどのようなものであったのか?

水中花; 子宮のなかでたゆたう生の誕生のイメージ? ; ブルームの身体が花に擬せられている

レンスター通りの浴場

水を怖がるスティーヴンとは対照的に身体を水で清めるブルームの衛生観念; cf. 世紀転換期のダブリンの街路の不衛生な状態 (U-Y. 1. 29)

リンカン・プレイスのスウィニー薬局 (U-Y 5.)



Rudolf Virag (viragはハンガリー語で「花」)

[?] トリカブトの花が想像されている?

[?] ブルームの父の死はブルームの男性性の喪失につながっているのか?

[?] ブルームの父が自殺したかは第5挿話からだけでは想定できない→「あんな死に方をして!」(U-Y 5.136)

香

髪油の匂い; 印刷したての新聞紙の匂い、ジンジャーエール(芳香性)、馬尿の匂い、モリーの香水(「スペインの肌」)を知りたがるマーサ; 線香の匂い、教会石段の「聖なる石のひんやりする匂い」、「薬品のつーんと鼻を衝く匂い」、「海綿や糸瓜束子のほこりっぽい匂い」、レモン石鹸の香り

- ブルームの父の死
- 息子ルーディーの死
- スティーヴンの母の死
- 重層する誕生と死のイメージ

水

リフィー川、香水、(頭に乘せる)水瓶、アルキメデスの原理、黒ビール、ジンジャーエール、葡萄酒、忘却の水、化粧水、風呂場の水

子供と猫

広告

教会内での独白における "her" はマーサのこと? ; マーサは続く挿話で再登場するのか?

オール・ハロース教会

聖歌隊一当時、女性は聖歌隊に参加できない; カストラートへの言及→ブルームの性的不安

鎮痛芥子シロップ、クロロホルム麻酔 酩酊と陶醉、酒と聖水 黒ビール、ジンジャーエール、葡萄酒、聖水

L Leopold Bloom

帽子のヘッドバンドに書かれた"Plasto's high grade ha."における、消えた"l"の文字

リフィー側南岸

L "Bethel. El, yes" ; "...Ale, Summer sale ; World-Word

皮剥ぎ手伝いの、煙草を吸う少年

広告

ブルームの誤った自然科学に関する知識

広告

M Martha Clifford

タイプライターで書かれた手紙のなかの誤字 "I do not like that other world." (U 5.246)

女郵便局長

郵便局

ピン

[?] keep it up (ずり落ちないように) の意味するものは?

M Molly Bloom

(ブルーム家の黒猫)

ブルームの瓶詰め肉; "Incompet" が含意するものは? ; pot the meat はスラングで「性交する」の意。

香水・化粧水

棒状のもの

(Blazes Boylan)

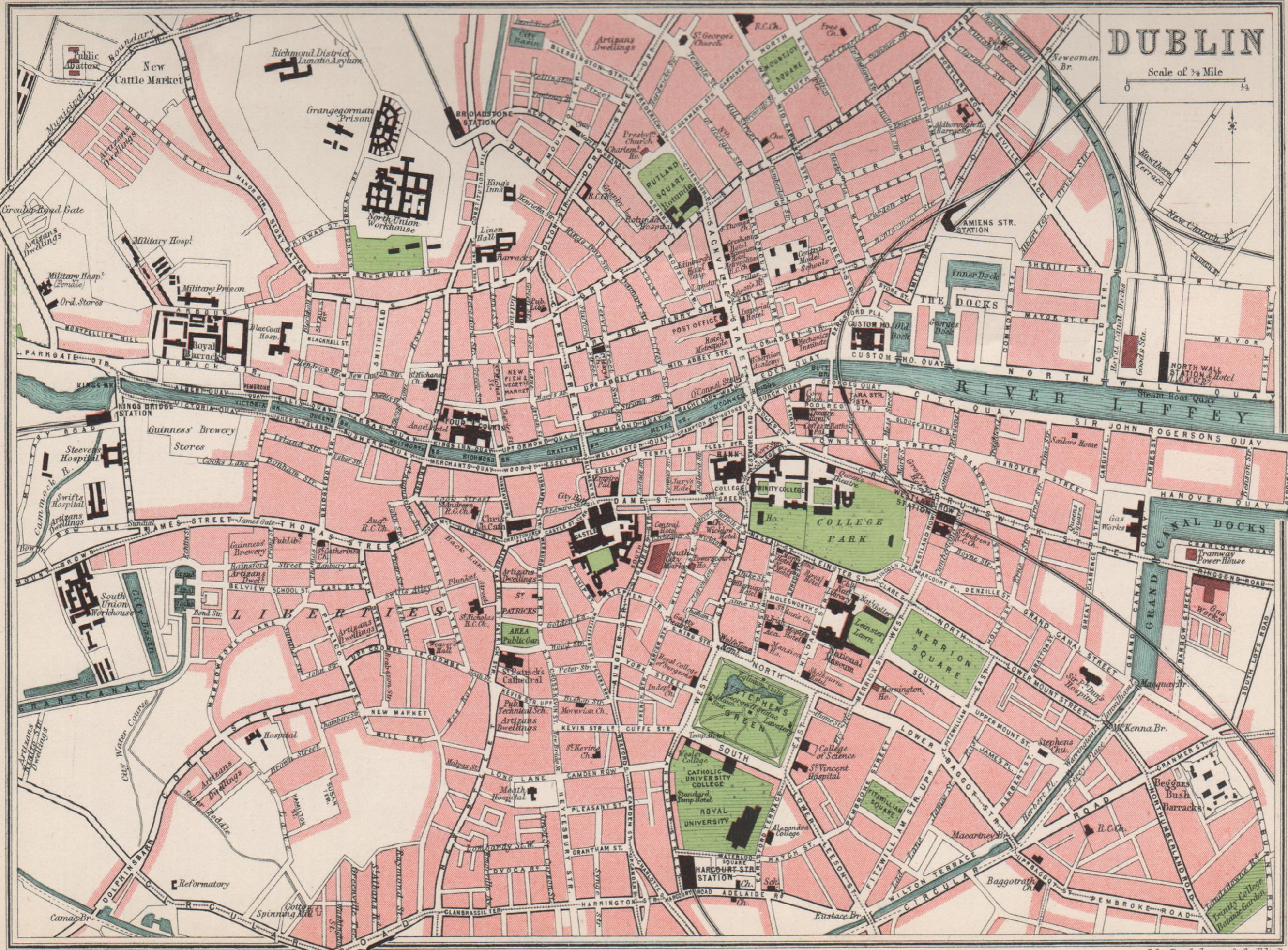
ボイルンの男性器; I.N.R.I (Iron nails ran in.); Freeman's Journal紙のバトン、輻(や); spoke spoke spoke; 箸; クリケットのバット

M Milly Bloom

第5挿話の復習

DUBLIN

Scale of 1/4 Mile



特別回 (第1~5 挿話)

- 13:00-13:30 準備：Zoomの練習・操作案内
- 13:30-13:40 挨拶
- 13:40-14:30 第1部：第1, 2, 3, 4, 5挿話の復習（主催者クロストーク）
- 14:40-14:50 休憩**
- 14:50-15:50 第2部：ディスカッション・質疑応答
- 15:50-16:00 休憩
- 16:00-16:50 第3部：第1, 2, 4挿話の「テーマパネル」作成
- 16:50-17:00 挨拶
- 17:00-17:10 休憩
- 17:10 ~ 懇親会：Wandering Books；テーマ「旅」

特別回 (第1~5 挿話)

- 13:00-13:30 準備：Zoomの練習・操作案内
- 13:30-13:40 挨拶
- 13:40-14:30 第1部：第1, 2, 3, 4, 5挿話の復習（主催者クロストーク）
- 14:40-14:50 休憩
- 14:50-15:50 第2部：ディスカッション・質疑応答**
- 15:50-16:00 休憩
- 16:00-16:50 第3部：第1, 2, 4挿話の「テーマパネル」作成
- 16:50-17:00 挨拶
- 17:00-17:10 休憩
- 17:10 ~ 懇親会：Wandering Books；テーマ「旅」

Book I

第1挿話（テレマコス）

登場人物：スティーヴン・デダラス、バック・マリガン、ヘインズ、ミルク売りの老婆

- ①「マーテロ塔」の位置と構造
- ②登場人物たちのあだ名について
- ③登場人物たちのポケットには何が入っている？
- ④大いなる海と大いなる母—母の死と溺死の関係
- ⑤「アイルランド芸術の象徴」としての「僕のひび割れた鏡」
- ⑥ミルク売りの老婆とアイルランド性
- ⑦ヘインズと大英帝国（植民地主義）
- ⑧鍵の所収者と家賃問題
- ⑨男たちの朝食と紅茶
- ⑩シェイクスピアと『ハムレット』

第2挿話（ネストール）

登場人物：スティーヴン・デダラス、コ克蘭、アームストロング、コミン、タルボット、シ rilル・サージェント、ギャレット・ディージェー

- ①「歴史とはぼくが目覚めようとしている悪夢」とは？
- ②直線的な歴史観と明白なる運命
- ③「虚ろなもの」（貝、窓、湾）が意味するものは？
- ④ドーキーと富裕層、アングロ・アイリッシュについて
- ⑤アリストテレスの哲学と可能態
- ⑥狐のなぞなぞ
- ⑦反ユダヤ主義とディージェー校長のなぞなぞ
- ⑧馬と牛の口蹄疫とアイルランド経済
- ⑨お金、給料、借金
- ⑩教える者と学ぶ者

第3挿話（プロテウス）

登場人物：スティーヴン・デダラス、浜辺を歩く二人の老婆、犬("Tatters")を連れた男と女、犬の死骸

- ①スティーヴンが実践するバークリーの観念論
- ②サンディマウントとはどんな場所？
- ③「順次」と「並列態」の具体例は？
- ④海神プロテウスをつかまえる方法
- ⑤二人の老婆、ジプシー風の男と女、二匹の犬
- ⑥なぜジョイスは浜辺で死んでいる犬を描いたのか
- ⑦「誰が話している？」—グールディング家内の会話
- ⑧「こけ犬わんちゃん(dogsbody)」と犬の死体(dog's body)の関係
- ⑨墜落と帰還—スティーヴンのパリの記憶
- ⑩詩作と鼻くそ—スティーヴンの創造行為

Book II

第4挿話（カリュプソー）

登場人物：リアポウルド・ブルーム、黒猫、モリー・ブルーム、
ドルーガック肉店の主、ミリー・ブルーム、ブレイゼズ・ボイラン

- ①二つの太陽を覆う雲
- ②誰が何を食べている？—人間と動物の食生活
- ③ブルーム家の猫の謎
- ④ドルーガック肉店とユダヤ的なるもの
- ⑤「手紙は誰に？」—モリーとボイラン、ミリーとバノン
- ⑥「会者定離輪廻」(Metempsychosis)という鍵語
- ⑦ブルームの帽子と鍵
- ⑧ホメリック・パラレル—カリュプソーと「ニンフの沐浴」
- ⑨ブルームの子どもたち—娘ミリーとルーディ
- ⑩第4挿話にはなぜ排泄物が描かれるのか？

第5挿話（食蓮人たち）

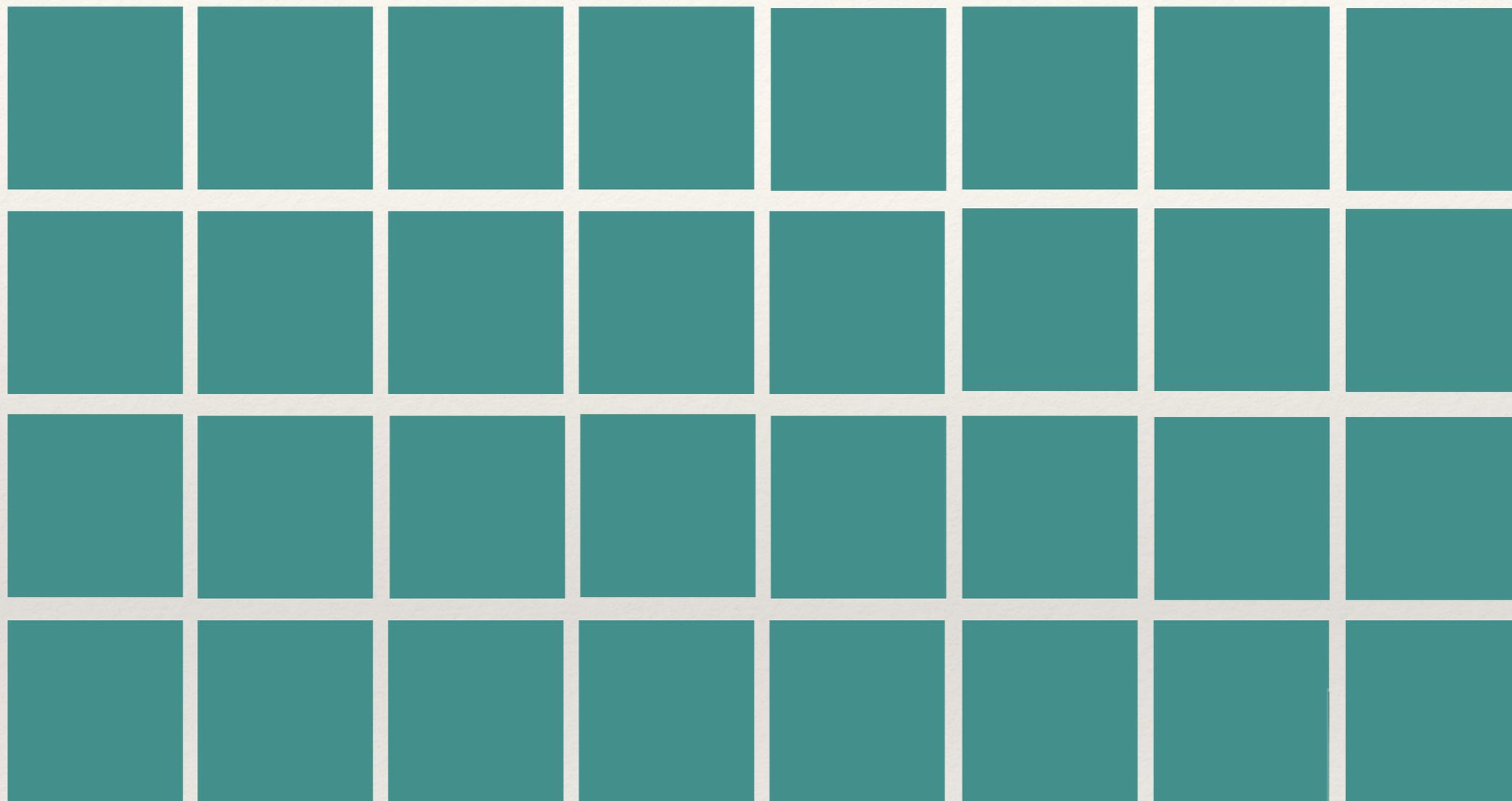
登場人物：レオポルド・ブルーム、マーサ・クリフォード、
C・P・マッコイ、スウィニー薬局の主、バンタム・ライアンズ

- ①ホメリック・パラレル—食蓮人と麻痺
- ②この街ではいつも誰かが見ているかもしれない—窃視症と窃視不安
- ③ヘンリー・フラワーとマーサ・クリフォードのエロティックな文通
- ④第5挿話に隠れた花を見つけ出す
- ⑤読みまくるブルーム—手紙、新聞記事、広告
- ⑥父ルドルフ・ヴィラークの死
- ⑦ブルームの性的不安
- ⑧教会とミサ（告解と改悛）
- ⑨きれい好きのブルーム—スウィニー薬局の石鹸と温水浴場
- ⑩ジョイスの間違いは間違わない—バンタム・ライアンズの勘違い

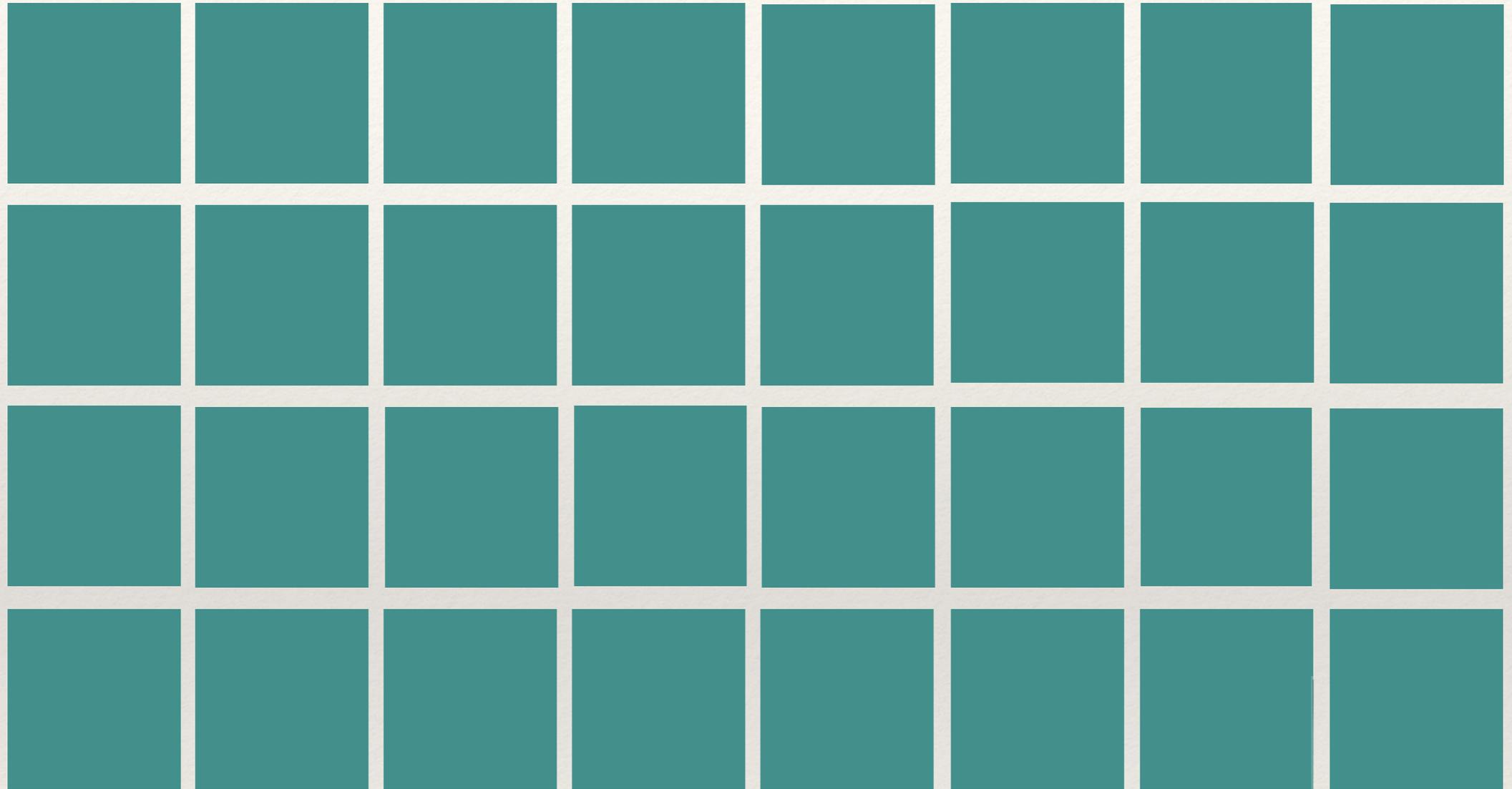
特別回 (第1~5 挿話)

- 13:00-13:30 準備：Zoomの練習・操作案内
- 13:30-13:40 挨拶
- 13:40-14:30 第1部：第1, 2, 3, 4, 5挿話の復習（主催者クロストーク）
- 14:40-14:50 休憩
- 14:50-15:50 第2部：ディスカッション・質疑応答
- 15:50-16:00 休憩
- 16:00-16:50 第3部：第1, 2, 4挿話の「テーマパネル」作成**
- 16:50-17:00 挨拶
- 17:00-17:10 休憩
- 17:10 ~ 懇親会：Wandering Books；テーマ「旅」

第1挿話のテーマパネル



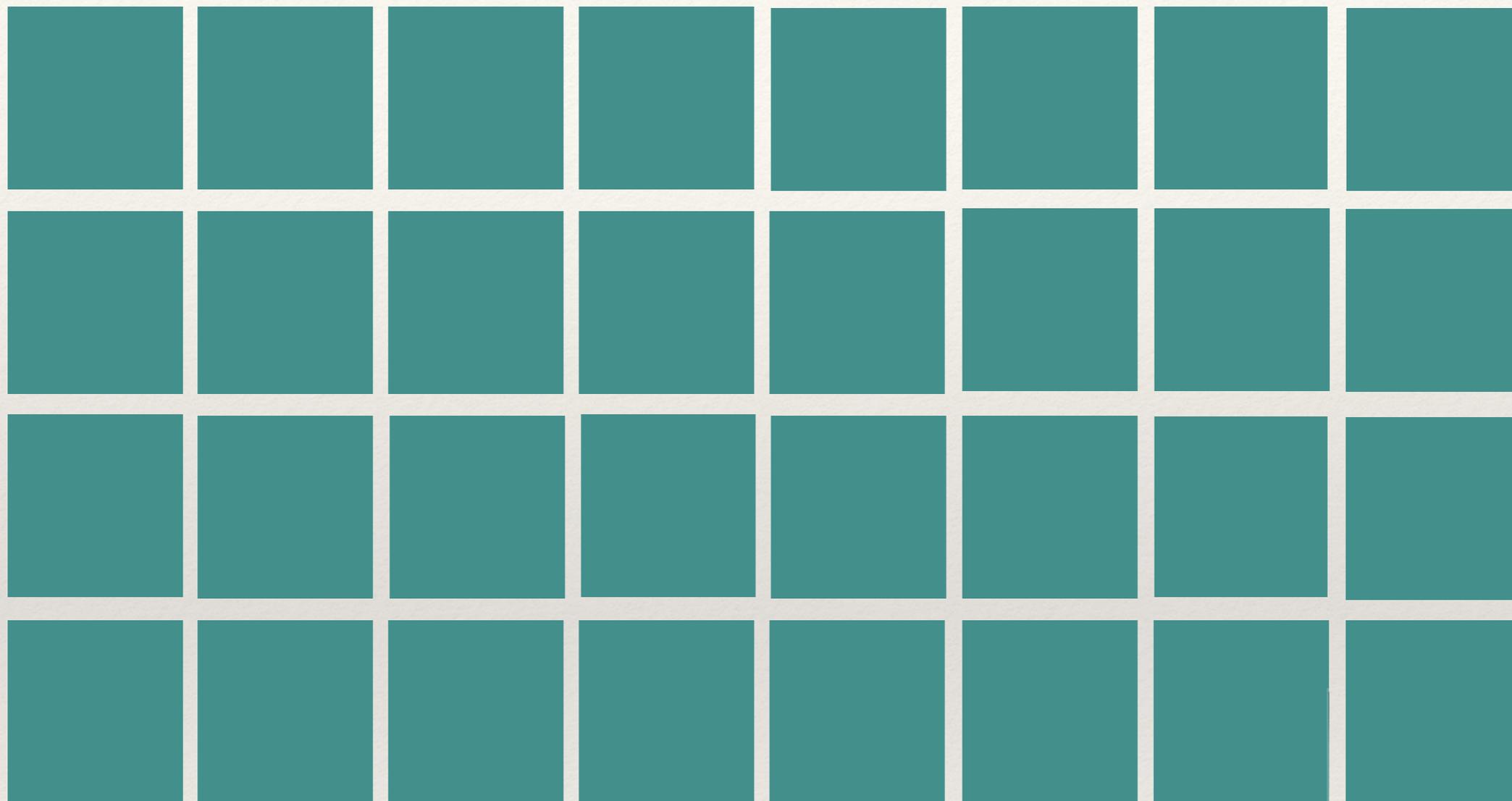
第2挿話のテーマパネル



第3挿話のテーマパネル



第4挿話のテーマパネル



第5挿話のテーマパネル



次回の第6回読書会（第6挿話）は6月28日（日）に、オンラインで実施します。予約開始日はtwitter（@YMINAMITANI）とStephens Workshopのホームページでお知らせします。

よろしければ後ほど別途送付しますアンケートフォームにご記入いただき、workshop.stephens@gmail.comまでご返送ください。

本日はご来場いただき、ありがとうございました！

特別回 (第1~5 挿話)

13:00-13:30 準備：Zoomの練習・操作案内

13:30-13:40 挨拶

13:40-14:30 第1部：第1, 2, 3, 4, 5挿話の復習（主催者クロストーク）

14:40-14:50 休憩

14:50-15:50 第2部：ディスカッション・質疑応答

15:50-16:00 休憩

16:00-16:50 第3部：第1, 2, 4挿話の「テーマパネル」作成

16:50-17:00 挨拶

17:00-17:10 休憩

17:10 ~ 懇親会：Wandering Books；テーマ「旅」